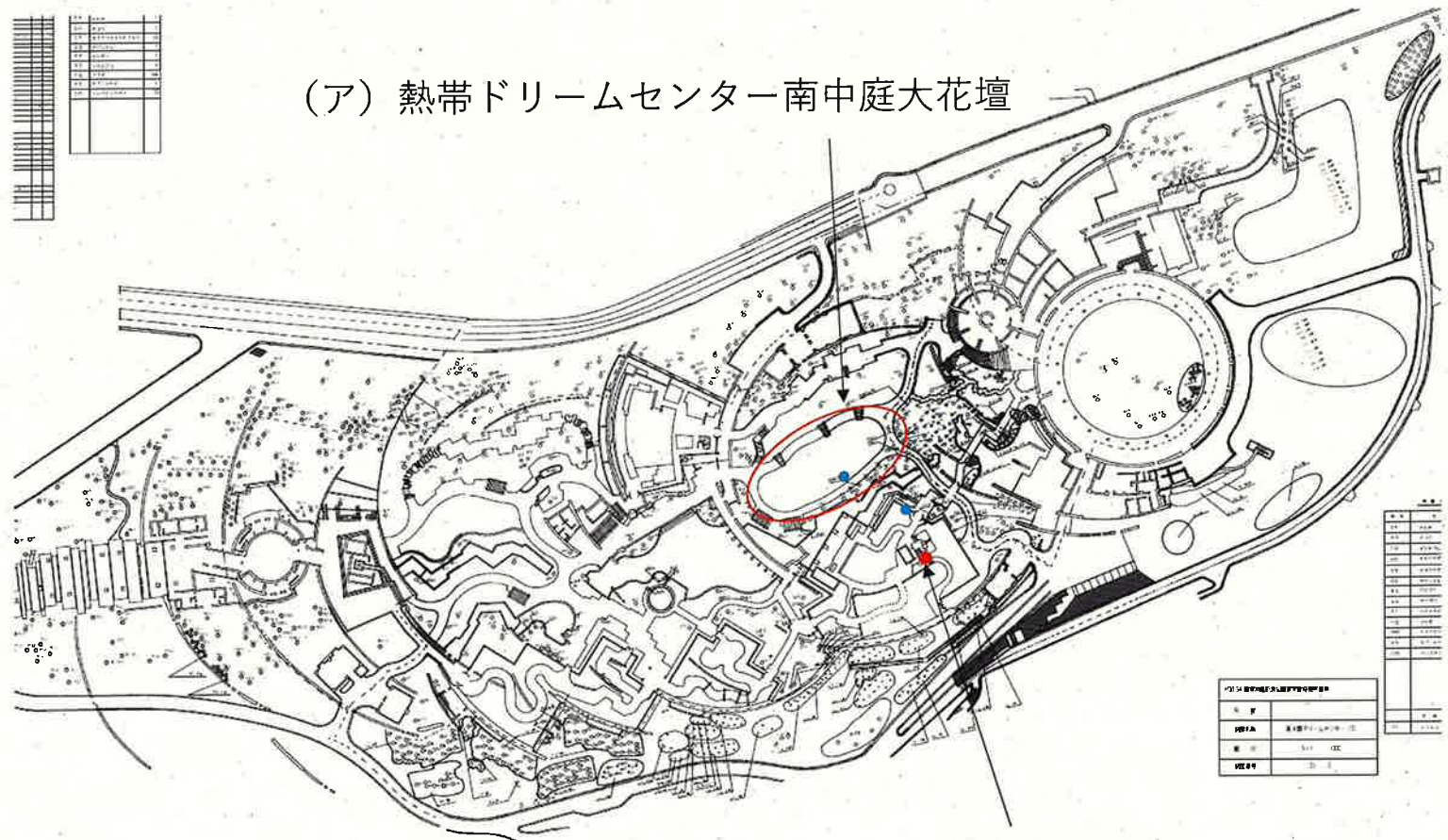


熱帯ドリームセンター

| | |
|----|-------|
| 1 | 100m |
| 2 | 200m |
| 3 | 300m |
| 4 | 400m |
| 5 | 500m |
| 6 | 600m |
| 7 | 700m |
| 8 | 800m |
| 9 | 900m |
| 10 | 1000m |
| 11 | 1100m |
| 12 | 1200m |
| 13 | 1300m |
| 14 | 1400m |
| 15 | 1500m |
| 16 | 1600m |
| 17 | 1700m |
| 18 | 1800m |
| 19 | 1900m |
| 20 | 2000m |

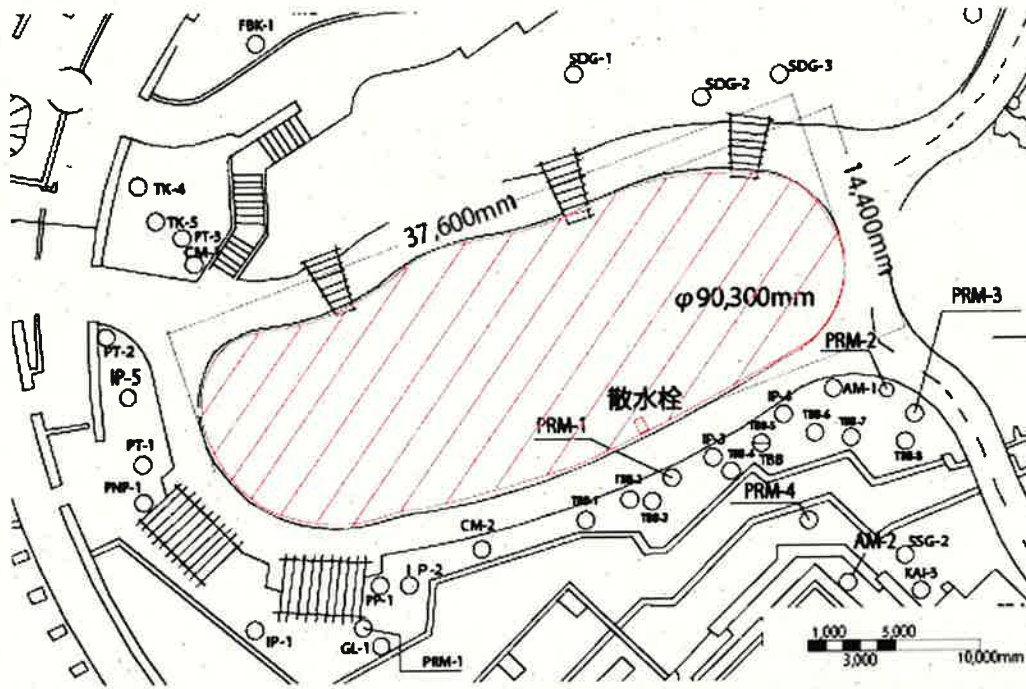
(ア) 熱帯ドリームセンター南中庭大花壇



| 熱帯ドリームセンター | |
|------------|-------|
| 区画 | 名称 |
| 1 | 100m |
| 2 | 200m |
| 3 | 300m |
| 4 | 400m |
| 5 | 500m |
| 6 | 600m |
| 7 | 700m |
| 8 | 800m |
| 9 | 900m |
| 10 | 1000m |
| 11 | 1100m |
| 12 | 1200m |
| 13 | 1300m |
| 14 | 1400m |
| 15 | 1500m |
| 16 | 1600m |
| 17 | 1700m |
| 18 | 1800m |
| 19 | 1900m |
| 20 | 2000m |

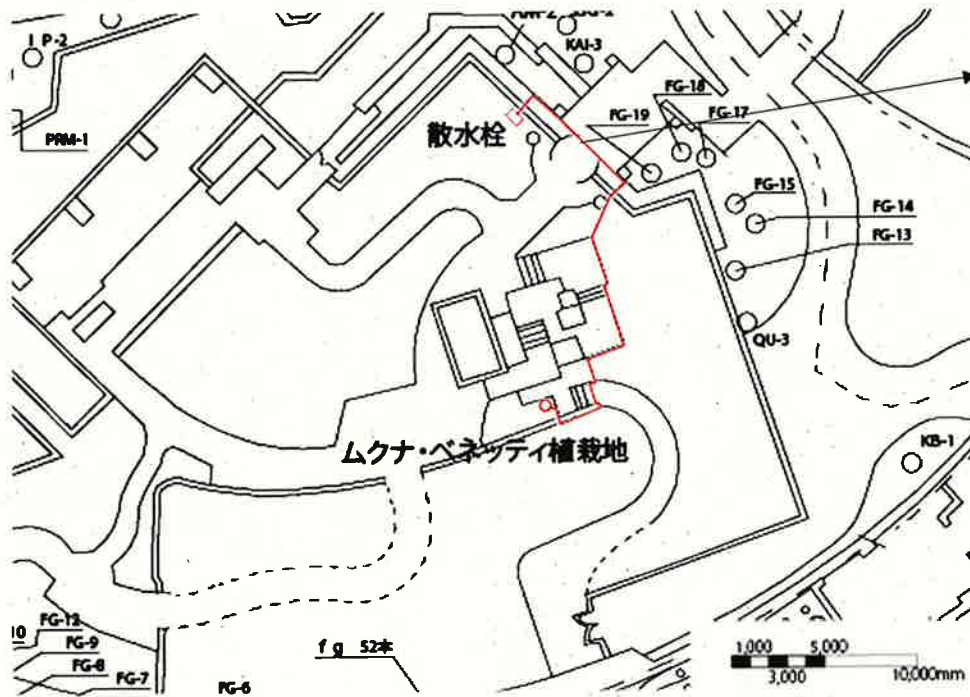
(イ) 熱帯ドリームセンター果樹温室

(ア) 熱帯ドリームセンター南中庭大花壇



芝生地に大規模花壇を設置する（花壇の形は年度ごとに変更がある。）場所。
図面の赤斜面全体をポップアップスプリンクラーで散水する。
※イメージ

(イ) 熱帯ドリームセンター果樹温室

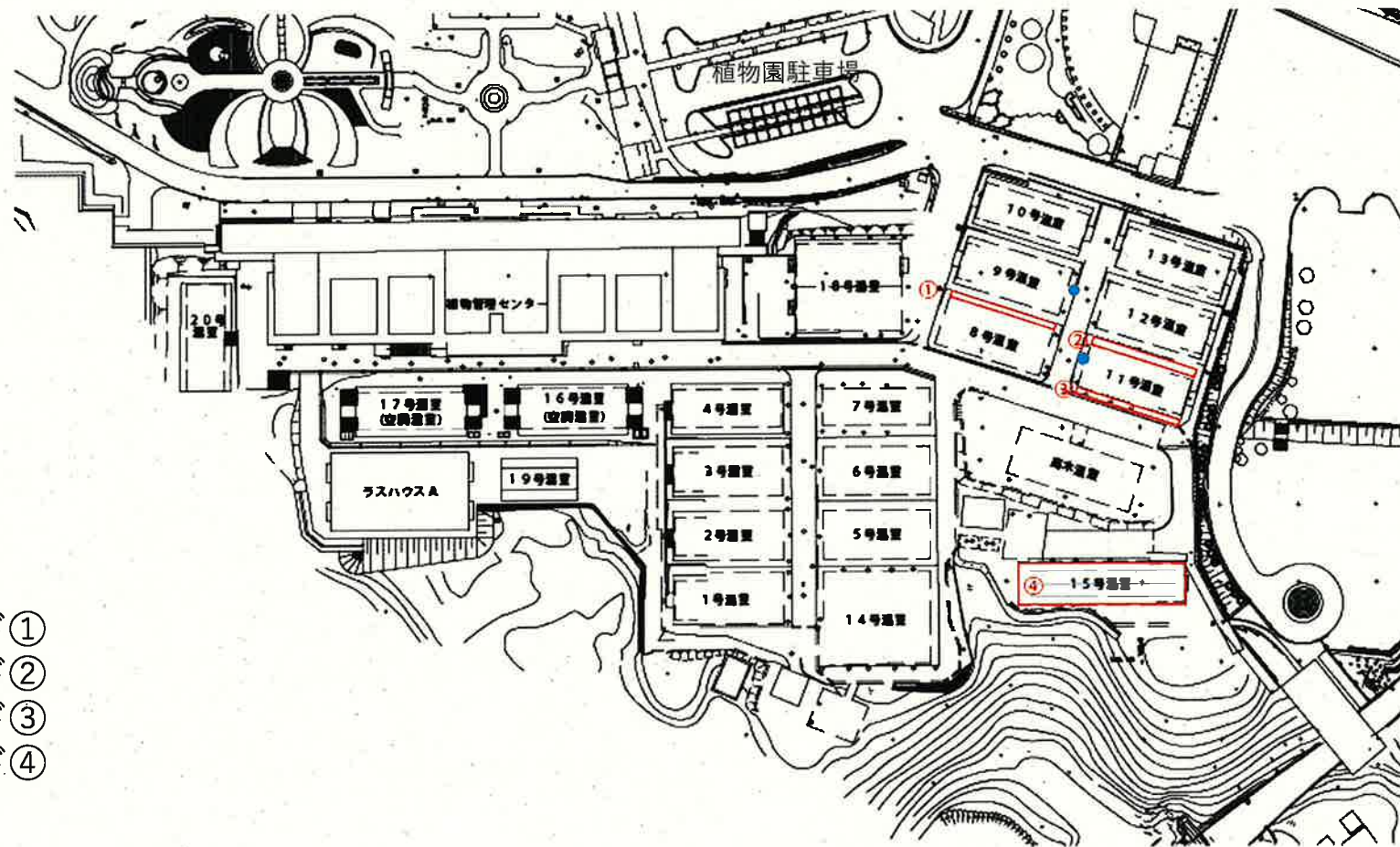


散水栓からムクナ・ベネッティの植栽地まで距離（約30m）があり、途中園路を横切るため、一度壁面を這わせて、自動ドアの風除室上部を這わせて再度下におろす。
そこから先は植栽地と階段下部を通す。



ムクナ・ベネッティの株もとでは点滴かん水を行う。

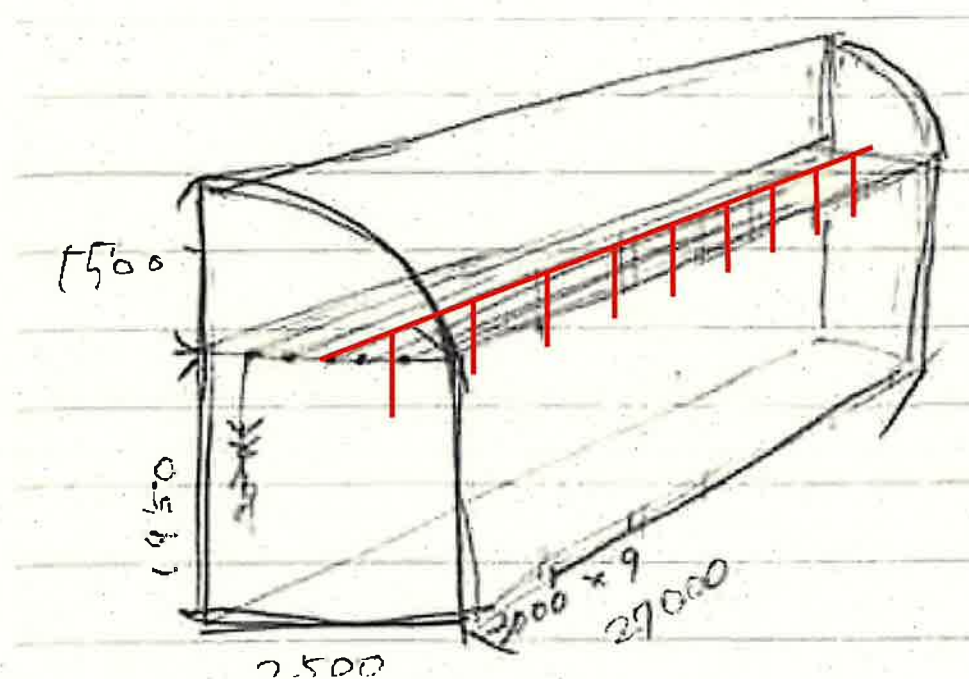
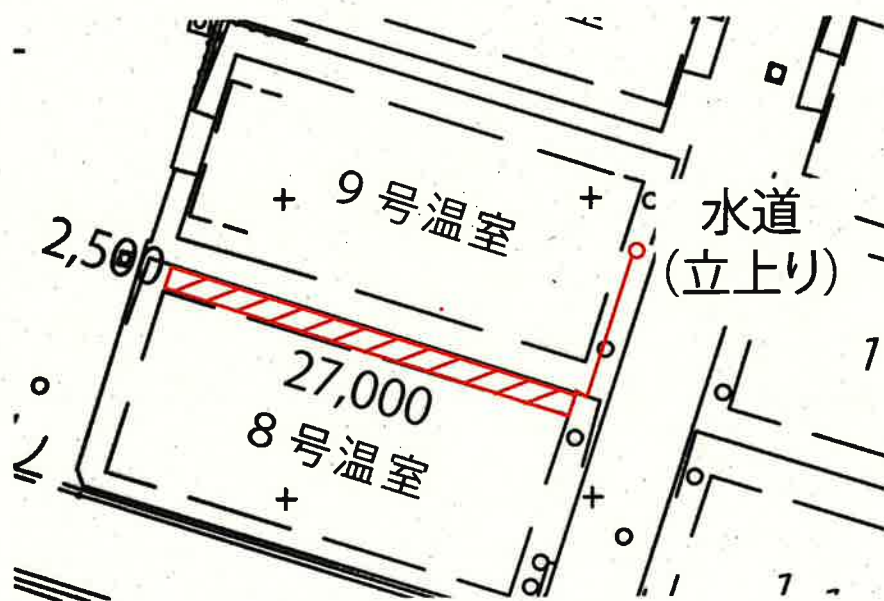
バックヤード



● 水源

- (ウ) バックヤード①
- (エ) バックヤード②
- (オ) バックヤード③
- (カ) バックヤード④

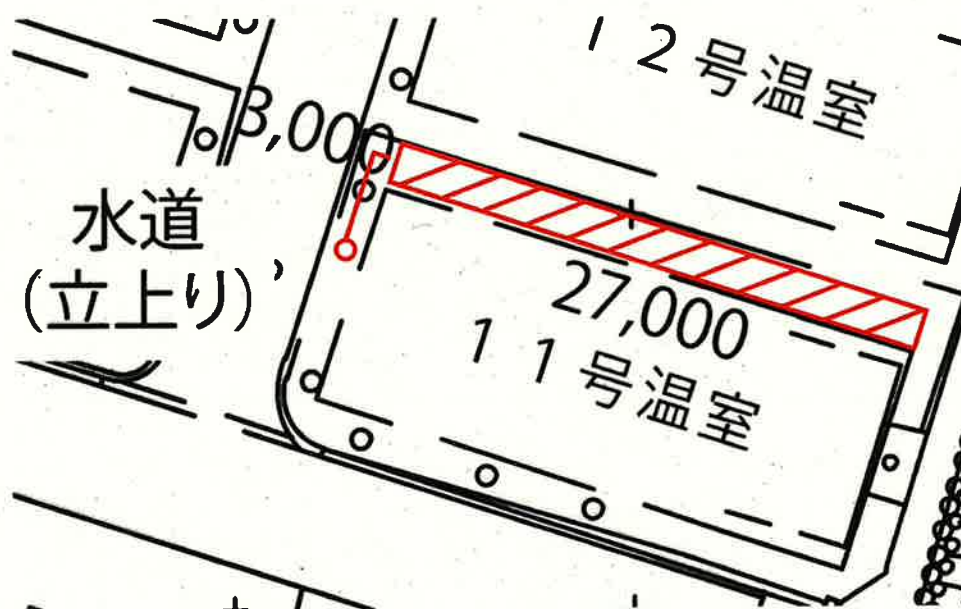
(ウ) バックヤード①



吊下げ方式配管例

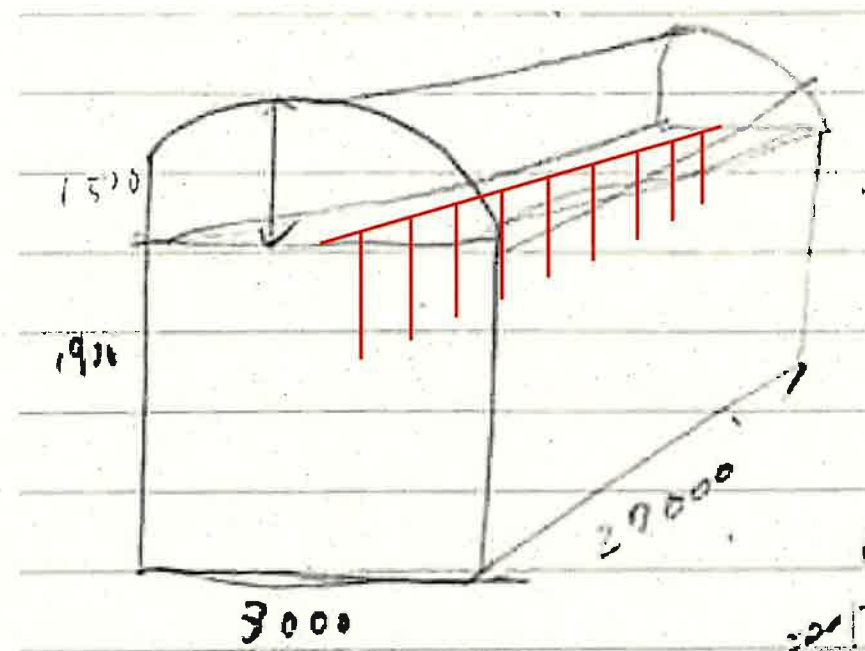
ハウスとハウスの間に設置した囲いの中に、木等に着生した植物をつるして頭上からかん水する。
※イメージ

(エ) バックヤード②



①より少し幅が広い。

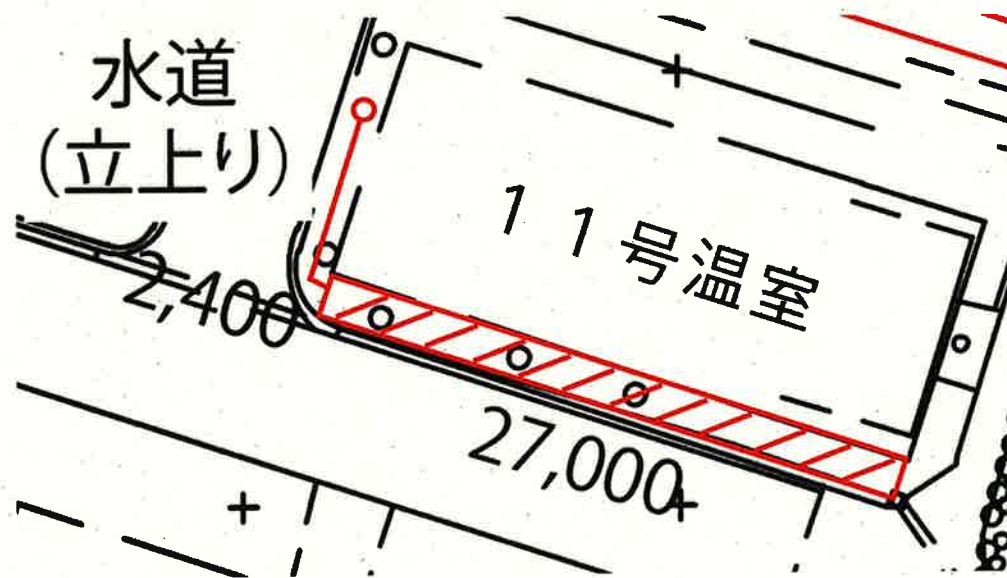
(オ) の点滴かん水と
水源が同じため、分岐
させて使用。



吊下げ方式配管例

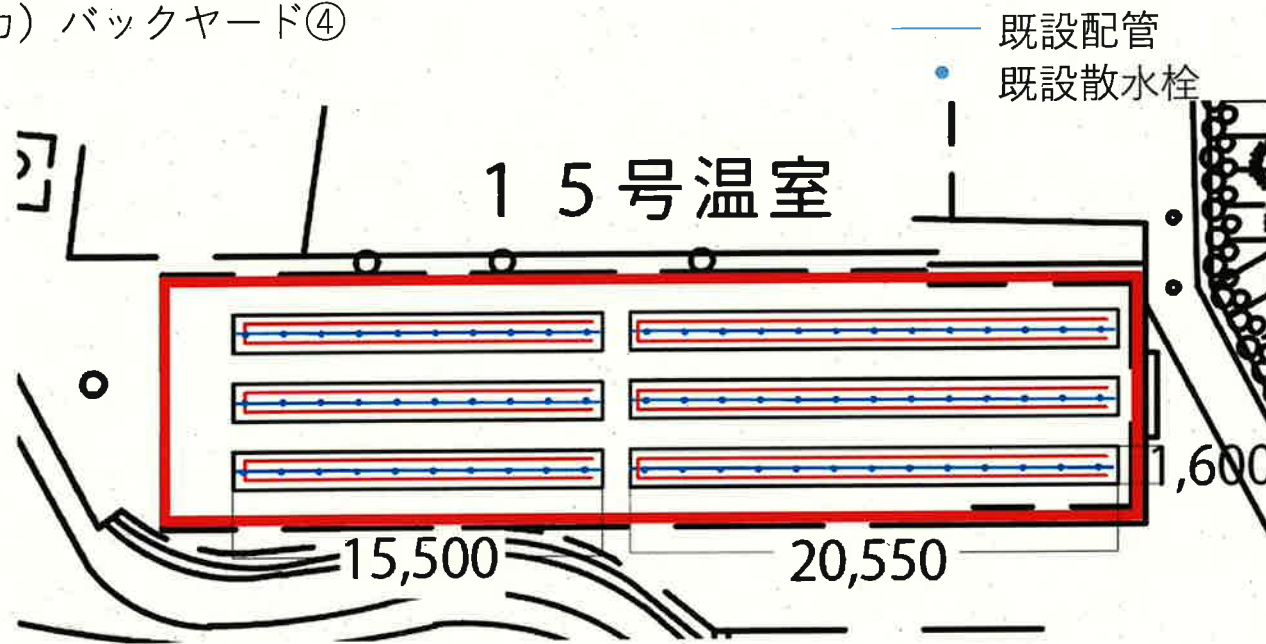
ハウスとハウスの
間に設置した囲い
の中に、木等に着
生した植物をつる
して頭上から灌水
する。
※イメージ

(オ) バックヤード③



幅2,400mm×27,000mmの場所に500mmスパン
×3列で鉢を設置 1列に54鉢設置できる。
すべての鉢に点滴かん水する。
液肥が混入できるように、混入器も設置する。

(カ) バックヤード④



ガラス温室の中に15,500×1,600mmの植栽ますが3列、
20,550×1,600mmの植栽ますが3列配置されている。
各植栽ますの中央に配管が敷設されており、約1500mmスパンで散
水栓が立ち上がっている。散水栓は全部で69ある。
④-1この散水栓のノズルをマイクロスプリンクラーヘッド ミニミ
スト ノズル青へ変更する。
④-2各植栽ますの中に8号～尺鉢のハイビスカスが各4列ずつ500m
mスパンで配置されており、その各鉢内に点滴でかん水する。
給水は既設配管からの分岐によるものとする。



既設配管の状況
植栽ます中央に配管が通っており、
約1500mmで散水栓が立ち上がって
いる。